

# 取扱説明書

音声機能付知的電話端末機  
SOA - 121z

(財)電気通信端末機器審査協会 認定品  
認定番号 S95 - 3093 - 0

〒783-0014 高知県南国市元町一丁目8番2号  
株式会社 システック  
Tel : 088-864-0160  
Fax : 088-864-0166

## 目次

1 . はじめに.....	3
2 . SOA - 1 2 1 zの特徴.....	3
3 . ブロック図.....	3
4 . 仕様.....	4
( 1 ) 一般仕様.....	4
( 2 ) NCU部仕様.....	4
( 3 ) 通信部仕様.....	4
5 . 機能説明.....	5
( 1 ) 正面パネル.....	5
( 2 ) 裏面パネル.....	5
( 3 ) 底部モニタスピ - カ.....	6
6 . コネクタ及び外部接続端子台.....	6
( 1 ) 電源コネクタ.....	6
( 2 ) 外部接続端子台.....	6
( 3 ) 入出力等価回路.....	7
( 4 ) RS 2 3 2 Cコネクタ.....	7
( 5 ) モジュラジャック.....	7
7 . 運転モ - ド.....	8
( 1 ) 運転中の表示.....	8
( 2 ) 入出力のモニタ.....	8
8 . 音声合成.....	9
9 . 初期設定及び各種デ - タ登録と確認.....	9
( 1 ) 機能モ - ド ( 出荷時 : 1 ).....	10
( 2 ) 選択信号種別 ( 出荷時 : P B ).....	10
( 3 ) 着信モ - ド ( 出荷時 : 0 ).....	11
( 4 ) 発信モ - ドの設定 ( 出荷時 : 1 ).....	11
( 5 ) 発信条件の設定 ( 出荷時 : IN1 ON 、 IN2 ON ).....	11
( 6 ) リダイヤル ( 出荷時 : 9 ).....	12
( 7 ) ポケベル発信 ( 出荷時 : OFF ).....	12
( 8 ) ポケベル時間 ( 出荷時 : 1 5 ).....	12
( 9 ) 第 1 電話番号の設定 ( 出荷時 : ブランク ).....	13
( 10 ) 第 2 電話番号の設定 ( 出荷時 : ブランク ).....	13
( 11 ) ID番号 ( パスワ - ド ) の登録 ( 出荷時 : ブランク ).....	14
( 12 ) 最大接続時間 ( 出荷時 : 0 ).....	14
( 13 ) 無通信時間 ( 出荷時 : 0 ).....	15
( 14 ) 確認信号の有無 ( 出荷時 : アリ ).....	15
1 0 . SOA - 1 2 1 シリーズの機能説明.....	16
( 1 ) SOA - 1 2 1 シリーズの概要.....	16
( 2 ) 自動発信.....	17
( 3 ) ポケベル発信.....	18
( 4 ) 自動着信.....	18
( 5 ) 出力の動作 ( SOA - 1 2 1 どうし 1 対 1 の通信 ).....	19
1 1 . SOA - 1 2 1 z タイプの機能説明.....	19
( 1 ) 再生機能.....	19
( 2 ) 電話機で入出力、停電監視と出力制御機能.....	19
( 3 ) SOA - 1 2 1 シリーズのホスト機としての機能.....	21
1 2 . RS 2 3 2 C 通信部仕様.....	22
( 1 ) コマンドとレスポンス.....	22
( 2 ) ピンアサイン < 9 ピン >.....	22

(3) コネクタの結線図(例: PC9801シリーズの場合) .....	22
(4) RS232C通信部仕様 .....	23
(5) コマンドとレスポンスのデ - タフォ - マット .....	23
(6) RS - 232Cでの操作 .....	23
13 . 外観図 .....	24
(1) 外観図 .....	24
(2) パネル表面 .....	24
(3) パネル裏面 .....	24
14 . 付属品 .....	25
15 . オプション .....	25
16 . 機能及び初期デ - タ設定記録 .....	25

### 1. はじめに

この度は、音声機能付知的電話端末機（SOA - 121z）を、お買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。

今後とも、株式会社システック製の製品をご愛用下さいますよう、お願い申し上げます。

### 2. SOA - 121zの特徴

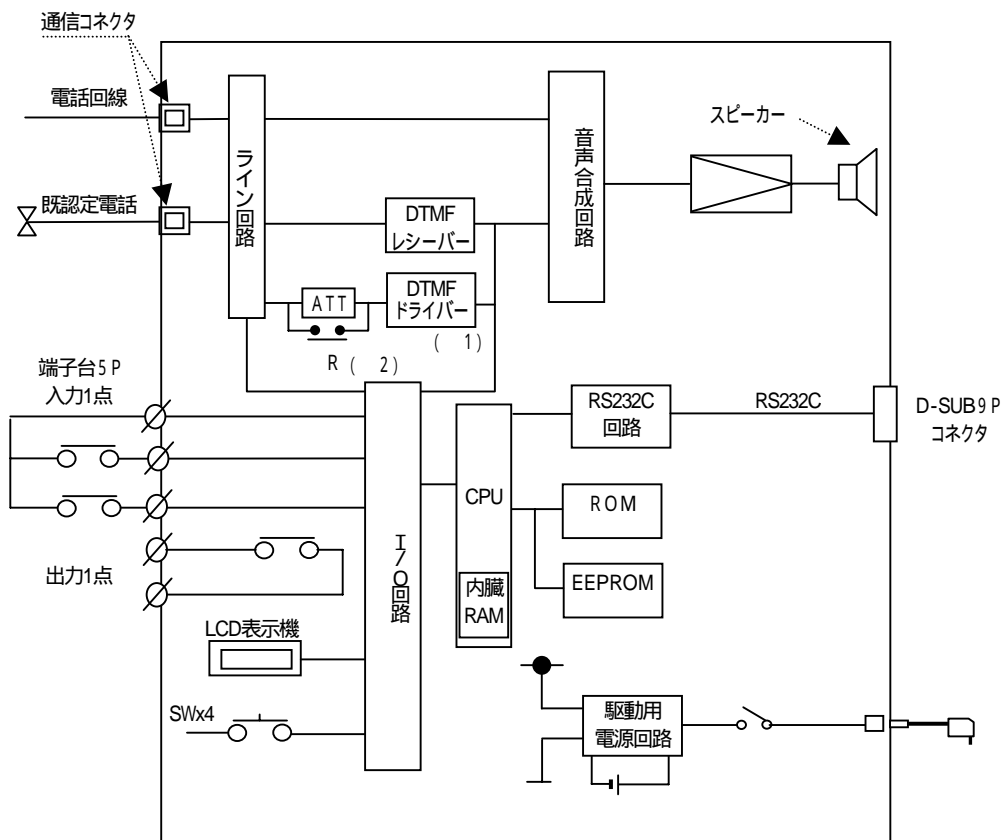
SOA - 121zは、パソコンからRS - 232Cを介し転送されたテキスト文を音声合成する機能を有し、音声による通知をすることができます。

SOA - 121zは、入力2点、出力1点を有し入力があると自動的に発信あるいは着信して通信する機能を有し、液晶ディスプレイで電話番号等初期設定が対話方式で容易になっています。

また、それらのデータはEEPROMに記憶し、停電によるデータの消滅を心配する必要がありません。

SOA - 121zは本体のバックアップ電池を備えており、停電も警報として発信することが可能です。

### 3. ブロック図



#### 4.仕様

##### (1)一般仕様

項 目	SOA-121z
電 源	ACアダプタ-
消費電流	700mA(DC)以下
バックアップ電池	SANYO CADNICA 4N-550AAS 4.8V 500mAh
停電補償時間 (*)	本体：約10分
周囲温度・湿度	0～55 . 85%以下
耐振動	JIS C0911に準拠
耐衝撃	JIS C0912に準拠
周囲雰囲気	腐食性ガス、塵埃のない場所
寸 法	215(w)153(d)50(h) h：ゴム足除く
重 量	1.4 Kg

(\*)電池の100%充電を条件とします。

##### (2)NCU部仕様

項 目	SOA-121z
適用回線	電話回線
回線接続方式	通信コネクタ(モジュラ-6極2芯)
網制御機能	AA/MA/MM
制御CPU	8ビット
選択信号種別	DP(10/20PPS)・PB・PBX :内部設定
直流抵抗	230
自動発信入力	入力変化、RS232C通信ポート
リダイヤル機能	有り(3分以内では3回までの発信とする)
ポケベル発信	可能 :内部設定、RS232C通信ポート
連続接続防止機能	自動発信でN分経過で回線切断 :内部設定、RS232C通信ポート

##### (3)通信部仕様

項 目	SOA-121z
通信方式	DTMF
インピ-ダンス	600
ID信号	10進4桁
入 力	2点(フック取込)・入力電流10mA /端子台
出 力(*)	1点(ル-接点) . 1A/DC48V.AC100以下 /端子台
シリアル通信	RS232C
音声合成方式	テキスト文変換

(\*)出力の動作はEEPROMに記憶されており、停電しても停電前の動作を保持します。

## 5. 機能説明

### (1) 正面パネル



[ POWER ] : 電源スイッチ ( ON表示はLCDのバックライト点灯)

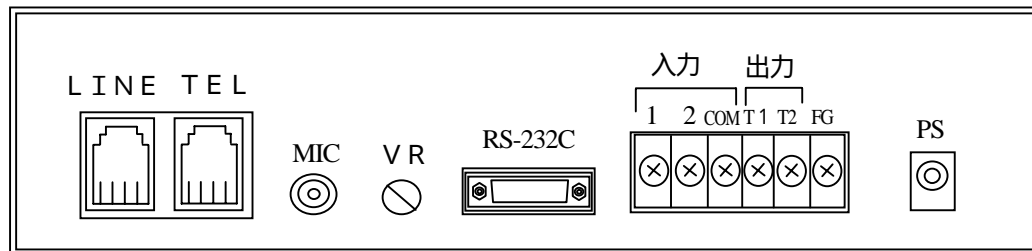
[     ] : LCD表示の切換・数値の選択

[ 選択 ] : 設定項目の選択

[ 実行 ] : 設定あるいはデータの確定

[ 運転 ] : 設定からの運転

### (2) 裏面パネル



[ LINE ] : NTT電話回線側モジュラジャック

[ TEL ] : 外付電話機側モジュラジャック

[ 入 力 ] : 入力端子台 ( 3 P )

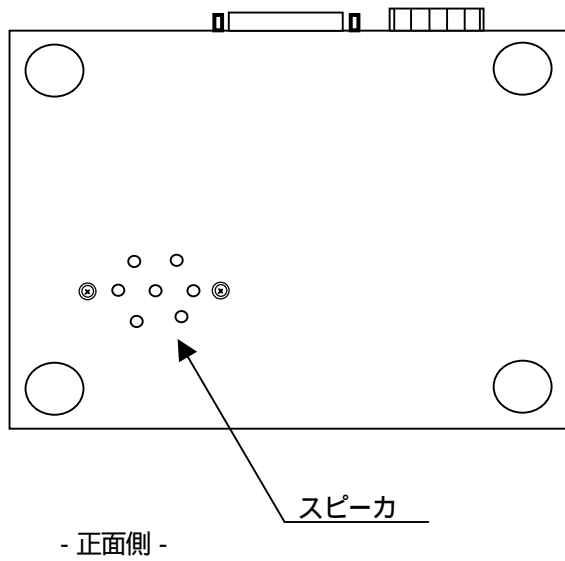
[ 出 力 ] : 出力端子台 ( 2 P )

[ PS ] : 本体の駆動用電源コネクタ

[ MIC ] : SOA - 1 2 1 zでは使用しません。

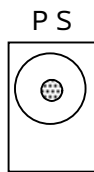
[ RS232C ] : D - SUB 9 Pコネクタ

(3) 底部モニタスピ - カ  
- 背面側 -

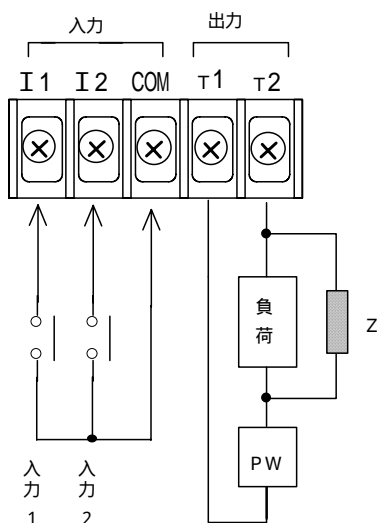


6. コネクタ及び外部接続端子台  
(1) 電源コネクタ

PS : 本体駆動用電源 (ACアダプタ - 装着)



(2) 外部接続端子台  
接続図

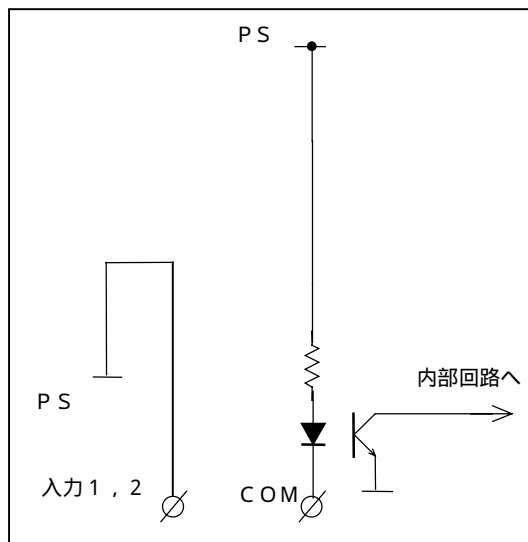


Z : 負荷のスパーク対策をすること、誤ると本体の誤動作の原因となります。

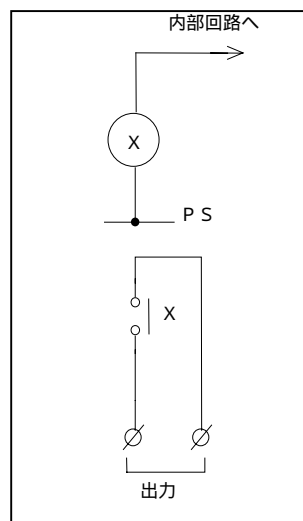
W : DC 48 Vもしくは、AC 100 V以下。

(3) 入出力等価回路

入力等価回路



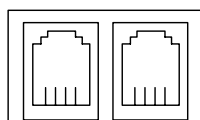
出力回路



(4) RS232Cコネクタ  
12 - (2) 参照

(5) モジュラジャック

LINE TEL



[ LINE ] : NTT 電話回線に接続

[ TEL ] : 外付電話機に接続



7. 運転モード

SOA-121zは運転中に、LCD表示器で運転状態を常にモニタできます。  
また、表示切替により当方、通信相手双方の入出力の状態をモニタできます。

(1) 運転中の表示

通常運転中

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
				S	O	A	-	1	2	1	z				

\*電源がONの場合は約30秒間LCDのバックライトが点灯しています。

電話呼出中

				S	O	A	-	1	2	1	z				
C	A	L	L	I	N	G		N	O	W					

通信中

				S	O	A	-	1	2	1	z				
O	N		L	I	N	E									

音声出力中(通信中)

				S	O	A	-	1	2	1	z				
O	N		L	I	N	E						S	P	K	

リダイヤル待機中

				S	O	A	-	1	2	1	z				
R	E	D	I	A	L										

\*下段後ろのカ-ソルが点滅します。

停電中

				S	O	A	-	1	2	1	z			P	D

\*LCDのバックライトは消灯します。

(2) 入出力のモニタ

(1)項運転中に[ ]を押すと、入出力のモニタ画面に切替わります。

元の画面に戻すには、[運転]を押します。

[実行]を押すと出力のON/OFFが切り替わります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
I	/	O			I	N	1		I	N	2		O	U	T

IN1, IN2, OUTの は、ONの時反転します、上記はIN1がONの例。

8. 音声合成

パソコンからRS-232Cを介して入力されたテキスト文(シフトJISコード)を音声に変換し、電話回線に再生します。

コマンドにより電話を掛けずに底面のモニタスピーカから聞くこともできます。

9. 初期設定及び各種データ登録と確認

運転モード中に[運転]と[ ]を同時に押すと、設定モードに移ります。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
F	U	N													0

\* 1番目の画面は機能モードの選択です。

引き続き[ ]を押すと、順次設定項目が下記移動するので設定したい項目を選んで内容を設定します。

機能モード

選択信号種別

着信モード

発信モード

発信条件

リダイヤル

ポケベル発信

ポケベル時間

第1電話番号

第2電話番号

ID番号(パスワード)

最大接続時間

無通信時間

確認信号の有無

《注意》上記 ~ はパソコン等のソフトに委ねられ、スイッチによる設定は無視されます。

(1) 機能モード (出荷時: 1)

SOA-121zを音声モード、通信モードの設定をする。

FUN 0 : 通信モード

FUN 1 : 音声モード

FUN 2 : 音声案内モード

F	U	N													0

- ・ [選択] を1回押すごとに、0, 1, 2と表示される。
- ・ 設定したいところで [実行] を押す。

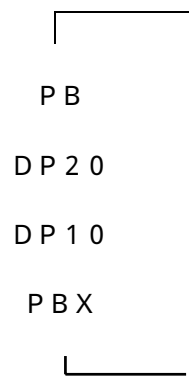
(2) 選択信号種別 (出荷時: PB)

電話回線がPBかDP10、DP20、PBXかを選択します。

D	I	A	L											P	B

- ・ [選択] を1回押すごとに下記表示が変わります。

・



- ・ 設定したいところで [実行] を押します。

(3) 着信モード(出荷時 : 0)

着信モードはSOA-121が自動着信するか否かの設定をします。

- REV 0 : 外付け電話機が鳴動します。(自動着信しません)
- REV 1 : SOA-121が1コールで自動着信します。
- REV 2 : SOA-121が2コールで自動着信します。
- REV 3 : SOA-121が3コールで自動着信します。
- REV 4 : SOA-121が4コールで自動着信します。
- REV 5 : SOA-121が5コールで自動着信します。
- REV 6 : SOA-121が6コールで自動着信します。
- REV 7 : SOA-121が7コールで自動着信します。
- REV 8 : SOA-121が8コールで自動着信します。
- REV 9 : SOA-121が9コールで自動着信します。

R	E	V																		0

- ・ [選択] を1回押すごとに0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 0・・・と表示が変わります。
- ・ 設定したいところで[実行]を押します。

(4) 発信モードの設定(出荷時 : 1)

発信モードとは、入力1、2の変化あるいは停電時と第1、2電話番号への発信を関係づけるものです。

発信モード1 : 入力1、2の変化あるいは停電で第1電話番号へ発信

発信モード2 : 入力1、2の変化あるいは停電で第1電話番号へ発信かつ、リダイヤル  
オ-パ-で第2電話番号へ発信

発信モード3 : 入力1の変化あるいは停電で第1電話番号へ、入力2の変化で第2電話  
番号へ発信

発信モード4 : 入力1、2の変化あるいは停電で第1電話番号へ発信かつ、発信終了で  
第2電話番号へ発信

C	A	L	L		M	O	D	.												1	

- ・ [選択] を1回押すごとに、1、2、3、4、1・・・と表示が変わります。
- ・ 設定したい回数を表示させて、[実行]を押します。

(5) 発信条件の設定(出荷時 : IN1 ON、IN2 ON)

入力(IN1、IN2)のONあるいはOFF、停電時(PD)、復電時(PU)の発信を  
関係づけるものです。

発信 :

発信停止 :

I	N	1		O	N			O	F	F					P	D				
I	N	2		O	N			O	F	F					P	U				

- ・ [選択] を1回押すごとに、IN1 ONが と を繰り返します。
- ・ [実行] を押すとIN1 ONが確定され、IN1 OFFにカ-ソルが移動します。
- ・ 以下同様にIN2、PD、PUを設定します。

(6) リダイヤル(出荷時: 9)

リダイヤル回数を設定します。

0 : リダイヤルしません。

1 ~ 8 : 設定した回数リダイヤルします。

9 : 相手に接続されるまでリダイヤルを繰り返します。

R	E	D	I	A	L														9	

- ・ [選択] を1回押すごとに、0 ~ 9と表示が変わります。
- ・ 設定したい回数で [実行] を押します。

(7) ポケベル発信(出荷時: OFF)

ポケベル発信が電話番号ごとに設定可能です。

P	K	E	B	L				T	E	L	1		O	F	F
								T	E	L	2		O	F	F

- ・ [選択] を1回押すごとに、TEL 1がON OFF ONと変わります。
- ・ ON/OFFいずれかを [実行] を押して決定します。
- ・ 選択がTEL 2に移り、[選択] を1回押すごとに、TEL 2がON OFF ONと変わります。
- ・ ON/OFFいずれかを [実行] を押して決定する。  
《注意》 構内交換器(内線電話)からは、ポケベル発信はできません。

(8) ポケベル時間(出荷時: 15)

ポケベル応答後メッセージ送出までのタイミングを秒で設定します。

P	K	E	B	L		T	I	M											1	5	

- ・ [選択] を1回押すごとに0 ~ 30と表示が変わります。
- ・ 設定したい秒数を表示して[実行]を押します。

(9) 第1電話番号の設定 (出荷時: ブランク)

T	E	L		N	O	1	.										

0 4 4 - 2 3 3 - 1 5 5 4を登録する例を以下に示します。

・ [ 選択 ] を押すとカ - ソルが下段の左端で点滅します。

T	E	L		N	O	1	.										

・ [ ] を1回押すごとにカ - ソルの位置が [ 1 ] [ 2 ] ・ ・ [ 0 ] [ : ] [ - ] [ ] と表示されるので [ 0 ] 表示させて [ 選択 ] を押すと0が仮に登録され、カ - ソルが右に移動します。(注) [ : ] はポーズ(3.5秒固定)  
順次 4 4 2 3 3 1 5 5 4と設定し、

T	E	L		N	O	1	.										
0	4	4	2	3	3	1	5	5	4								

・最後の1桁めが終了したら [ 実行 ] を押すと、次のように登録が終了します。

T	E	L		N	O	1	.										
						0	4	4	2	3	3	1	5	5	4		

(10) 第2電話番号の設定 (出荷時: ブランク)

T	E	L		N	O	2	.										

・ (8) 項同様に設定します。

(11) ID番号(パスワード)の登録(出荷時:ブランク)

ID番号は10進4桁の数を登録できます、3桁以下を登録すると上位桁に0が入ります。  
(ID番号は運用上パスワードとしても使えます)

I	D		N	O	.										

1 2 3 4の4桁を登録する例を以下に示します。

- ・ [選択] を押すとカ - ソルが下段の左端で点滅します。

I	D		N	O	.										

- ・ [ ] を1回押すごとにカ - ソルの位置に0 ~ 9と表示されるので [ 1 ] を表示させて、 [ 選択 ] を押すと1が仮に登録され、カ - ソルが右に移動します。順次2、3、4と登録し、

I	D		N	O	.										
1	2	3	4												

- ・最後の1桁目が終了し、 [ 実行 ] を押すと、次のように登録が終了します。

I	D		N	O	.										
											1	2	3	4	

(12) 最大接続時間(出荷時: 0)

電話回線の誤接続維持防止のため、回線接続の最大時間を設定できます。

この設定は、案内モード(FUN2)を設定した時に有効です。

音声モード(FUN1)の場合。

5 ~ 50 : 設定した数の秒数が最大接続時間となります。

M	A	X		C	O	N	.								0

- ・ [ 選択 ] を1回押すごとに、5 ~ 50と表示が変わります。
- ・ 設定したい回数を表示して [ 実行 ] を押します。

案内モード(FUN2)の場合。

0 : 最大接続時間を設定しません。

1 ~ 9 : 設定した数の分数が最大接続時間となります。

M	A	X		C	O	N	.								0

- ・ [ 選択 ] を1回押すごとに、0 ~ 9と表示が変わります。
- ・ 設定したい回数を表示して [ 実行 ] を押します。

(13) 無通信時間 (出荷時: 0)

一定時間おきにSOA - 1 2 1 zはコマンドを監視し、設定時間以上コマンドのやり取りが無い場合、SOA - 1 2 1 zから単独運転を開始し、RS - 2 3 2 C異常を通報します。

監視するコマンドはSOA - 1 2 1 zが装備してあるコマンドならいつでも有効で、受信する度に監視タイマをリセットします。

監視時間の設定値は以下のとおりです。

- 0 : 監視しません
- 1 : 10秒
- 2 : 30秒
- 3 : 1分
- 4 : 2分
- 5 : 3分
- 6 : 5分
- 7 : 10分
- 8 : 15分
- 9 : 30分

N	O		R	E	C	V													0	

- ・ [選択] を1回押すごとに、0 ~ 9と表示が変わります。
- ・ 設定したい回数を表示して [実行] を押します。

(14) 確認信号の有無 (出荷時: アリ)

SOA - 1 2 1 zは単独運転の発信のとき、0 #を確認して通報の終了を判断する事が出来ます。この0 # (確認信号) の使用の有無を設定します。

[アリ] の場合は通報先が0 #を押さないと正常通報となりません。(リダイヤルする)

[ナシ] の場合は0 #を認識しなくても、相手が着信すれば正常通報となります。

C	H	E	C	K		D	T	M	F											ア	リ	

- ・ [選択] を1回押すごとに、アリ・ナシと表示が変わります。
- ・ 設定したい内容を表示して [実行] を押します。



## 10. SOA-121シリーズの機能説明

### (1) SOA-121シリーズの概要

SOA-121シリーズは入力2点、出力1点の送受信を目的としたユニットで、センタ-1ヶ所に対しロ-カルnヶ所との通信に最も適していますが、1対1の通信あるいは電話機との通信も可能です。

その場合、ID番号は0000~9999が設定でき、0000以外の数値を設定すれば、発信時のIDと着信時のパスワード兼用で使えます。

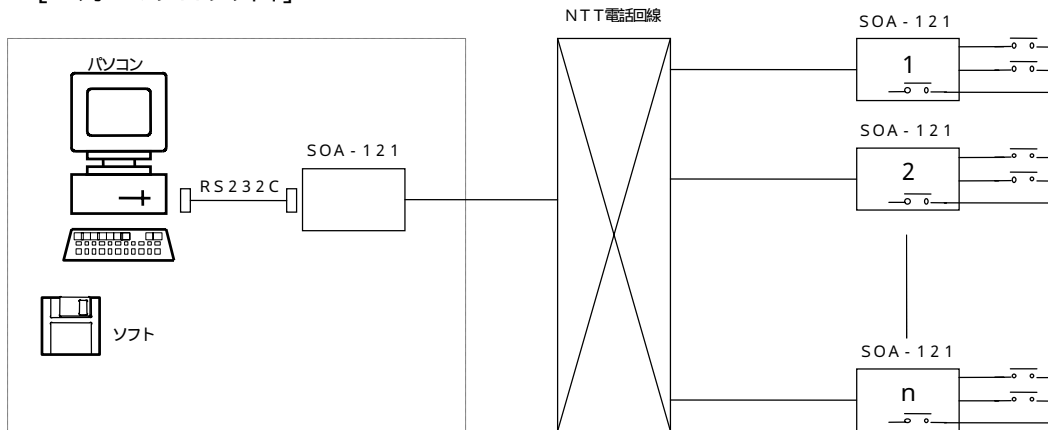
ID番号が0000以外に設定された場合、接続時にID番号を入力する必要があります。

例：IDが1234の場合、電話機から1234#と入力する。

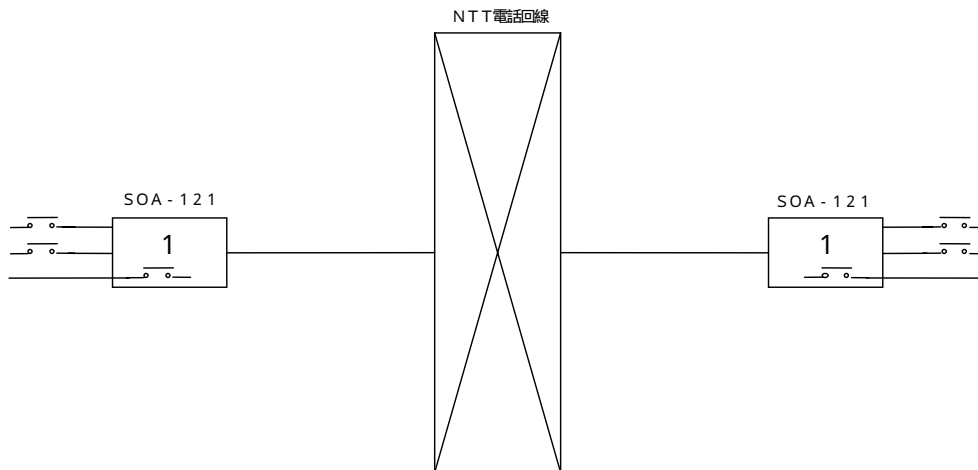
尚、SOA-121同士の1対1通信の場合は、入力1が相手側の出力に対応します。

(入力2と停電は出力されません。)

[ 1対nのブロック図 ]



[ 1対1のブロック図 ]



(2) 自動発信

自動発信モードの設定で、入力1、2の変化あるいは、停電（発信を設定）で第1、2電話番号への発信を関係づけます。

発信モード1

- ・入力1、2の変化あるいは、停電で第1電話番号に発信します。
- ・リダイヤル設定は有効、リダイヤルオ-バ-で発信を停止します。

発信要素	第1電話番号	第2電話番号
入力1変化		
入力2変化		
停電	(注)	

(注)  
(5) 発信条件の設定で、停電発信が設定されている場合。

発信モード2

- ・入力1、2の変化あるいは、停電で第1電話番号に発信します。
- ・リダイヤル設定は有効、第1電話番号のリダイヤルオ-バ-で第2電話番号に発信します。
- ・第2電話番号のリダイヤルオ-バ-で発信を停止します。

発信要素	第1電話番号	第2電話番号
入力1変化		
入力2変化		
停電	(注)	

(注)  
(5) 発信条件の設定で、停電発信が設定されている場合。

発信モード3

- ・入力1の変化あるいは、停電で第1電話番号に、入力2に変化があると第2電話番号に発信します。
- ・リダイヤル設定は有効、それぞれのリダイヤルオ-バ-で発信を停止します。

発信要素	第1電話番号	第2電話番号
入力1変化		
入力2変化		
停電	(注)	

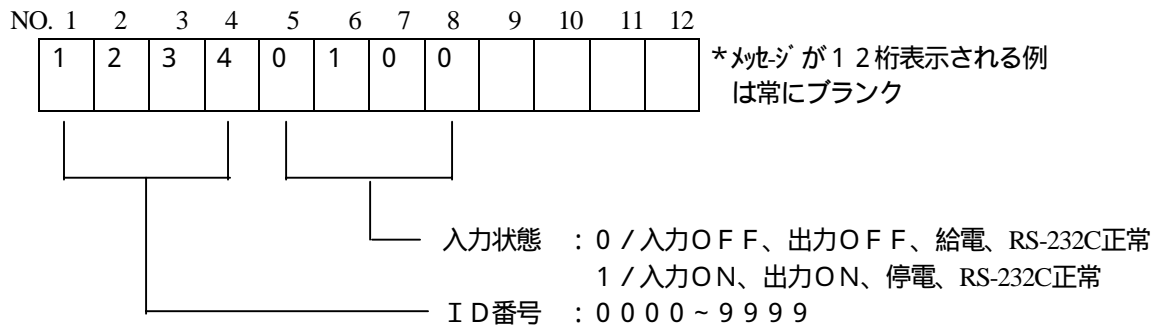
(注)  
(5) 発信条件の設定で、停電発信が設定されている場合。

発信モード4

- ・発信条件は発信モード2と同じです。
- ・入力1、2の変化あるいは、停電で第1電話番号に発信します。
- ・リダイヤル設定は有効、第1電話番号の終了、またはリダイヤルオーバーで第2電話番号に発信します。
- ・第2電話番号の終了、またはリダイヤルオ-バ-で発信を停止します。

(3) ポケベル発信

- ・ポケベル発信がONに設定されると、(2)項で設定された、発信モードに従って発信し発信の状態をメッセージに表示します。
- 尚、使用ポケベル会社のメッセージ送らまでの時間を調査のうえ、ポケベル時間を設定して下さい。



入出力、停電状態の表示位置関係

NO.

- 5 = 入力1
- 6 = 入力2
- 7 = 停電
- 8 = 出力
- 9 = RS-232C

(4) 自動着信

- 9 - (2)項の着信モードが通信モード(REV 0)になっていない場合はベル信号が来てもSOA-121は着信動作をしません。
- 以下は通信モード(REV 0)になっている場合の機能です。

ID番号がなにも設定されていない場合(0000)

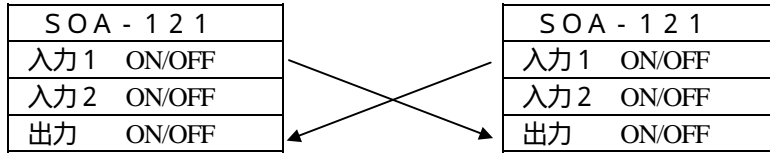
- ・電話回線から着信があると、ただちにループを構成し、回線を保持します。
- ・相手がSOA-121でない場合は、直ちに回線を開放します。
- ・相手がSOA-121の場合は、相手の入力1の状態を出力します。

ID番号が設定されている場合(0001~9999)

- ・電話回線から着信があると、ただちにループを構成し、回線を保持します。
- ・相手がSOA-121でない場合は、直ちに回線を開放します。
- ・相手がSOA-121の場合は、10秒以内に、設定されているID番号(この場合はパスワードの機能)が来て照合されない場合は回線を開放します。
- ・発信側が電話機の場合はパスワードはID番号+#を入力して下さい。
- ・SOA-121同士の通信の場合、ID番号が照合された時点で相手の入力1の状態が出力します。

(5) 出力の動作 (SOA - 121 同士1対1の通信)

- ・回線が接続中に入力1をON/OFFすれば通信相手の出力をON/OFFできます。
- ・出力は5秒後に自動的にOFFになります。
- ・出力がONの状態ですべての停電 (バックアップ電池も含めて) しても、停電が復旧すれば動作はONを保持されます。
- ・入力と出力の関係 (入力2は制御不可)



1.1. SOA - 121 zタイプの機能説明

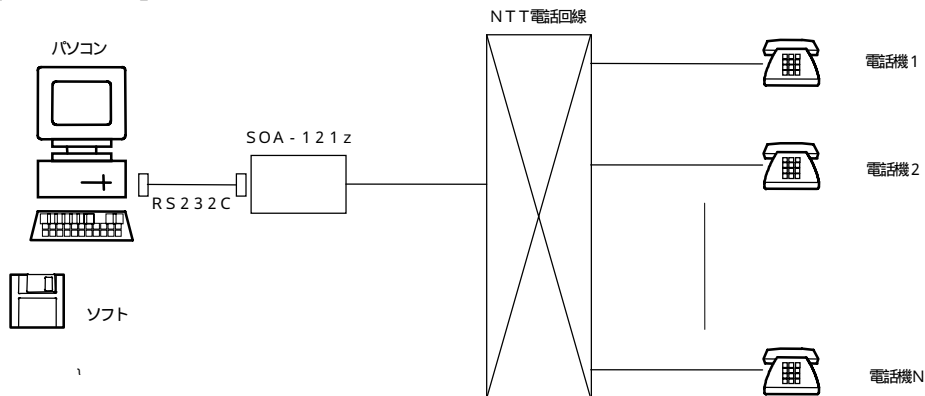
SOA - 121 zはSOA - 121シリーズ共通機能のうえに、下記機能が付加されています。

- テキスト音声再生機能。
- 電話機で入出力、停電監視と出力制御機能。
- SOA - 121シリーズのホスト機としての機能。

(1) 再生機能

パソコン等からSOA - 121 zの音声をコントロールします。  
 シリアル通信 (RS232C) で外部機器 (パソコン等) からSOA - 121 zに転送されたテキスト文を電話回線に音声再生します。  
 尚、初期設定及びデータ登録との関係は、9項 - (1) ~ (8) の設定は全て有効で、(8) 以降はパソコン等のソフトに委ねられ、SOA - 121 z本体に設定されているデータは無視されます。

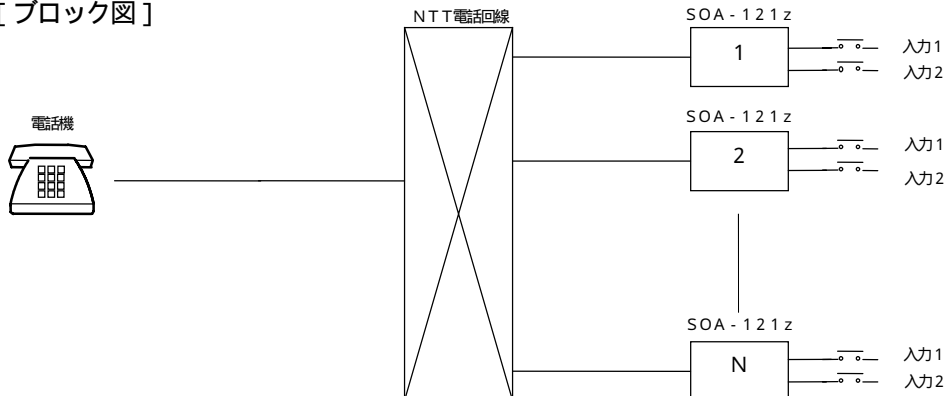
[ブロック図]



(2) 電話機で入出力、停電監視と出力制御機能

SOA - 121 zの入出力を音声で監視  
 電話回線から着信があった場合、あるいは入力変化で発信が設定されていた場合パスワード (ID番号) が照合されれば、入力1、2の状態を音声で再生する。

[ブロック図]



SOA - 121zの出力を制御

前項でIDが照合されるとSOA - 121zの出力(1点)制御(ON/OFFする)が可能。  
ID送出後[ピ-!]音が返って来ると、IDが一致したことを示すので電話機のPB  
信号を送ります。

(電話機はPBタイプに限る)

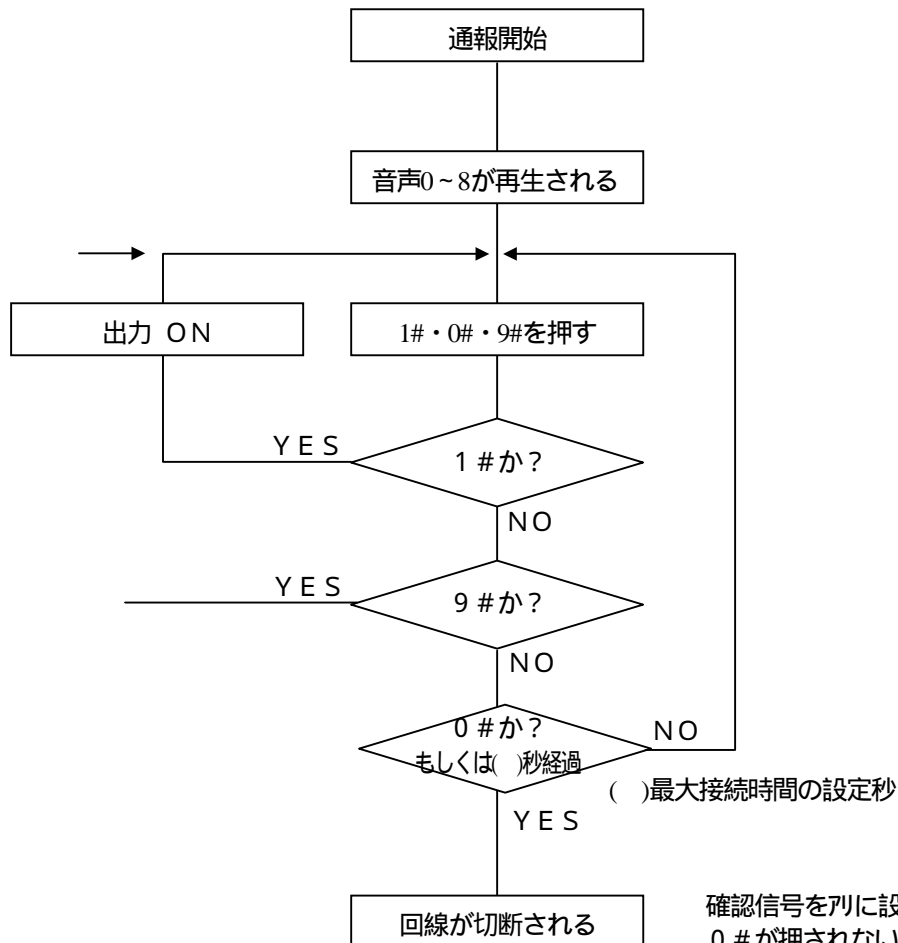
出力ON : 1# (5秒後に自動OFF)  
通話の終了 : 0#  
音声の再確認 : 9#

単独運転時の音声の保存場所

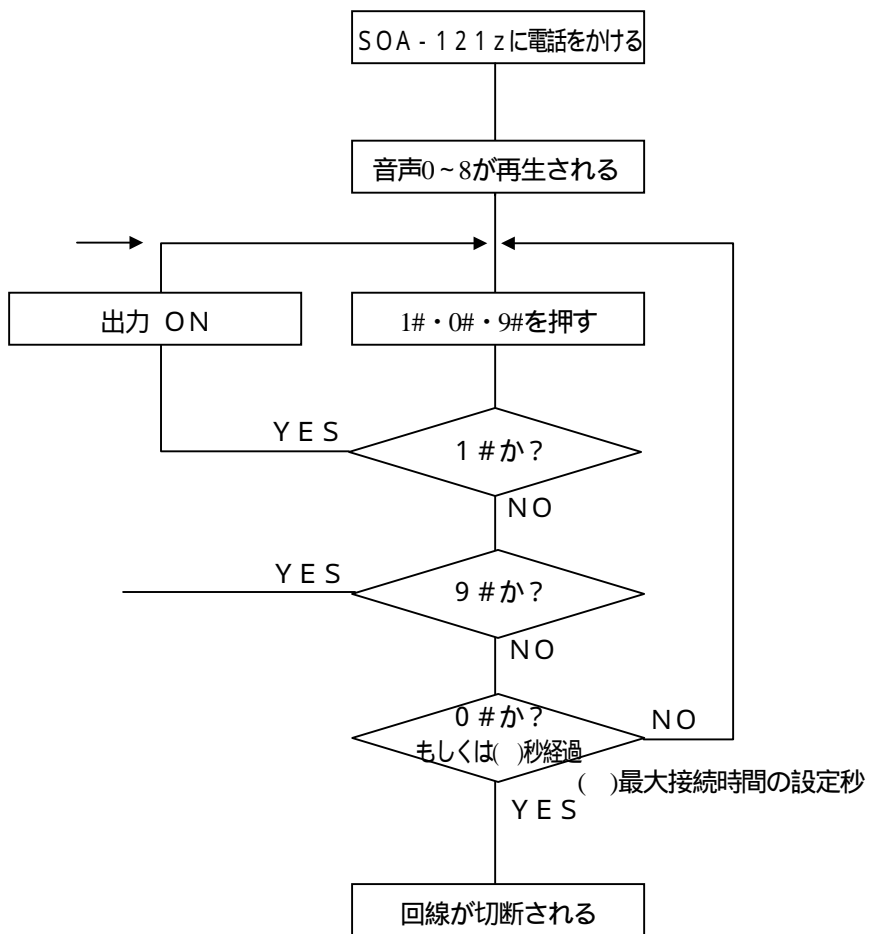
アドレス	内容
0	装置名(例:こちらはSOA-121zです)
1	入力1がON時の音声
2	入力1がOFF時の音声
3	入力2がON時の音声
4	入力2がOFF時の音声
5	停電時の音声
6	電源が正常時の音声
7	出力が制御された時の音声
8	RS-232Cが監視異常時の音声

SOA - 121zとの通話手順

・SOA - 121zから発信の手順



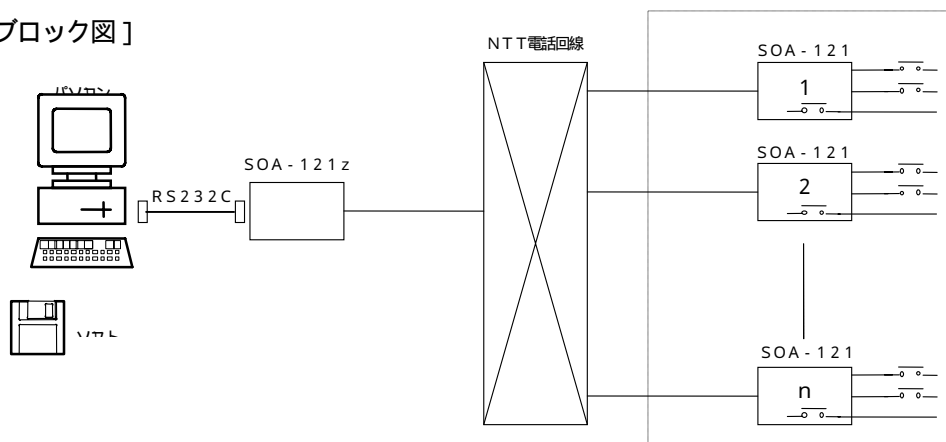
・着信の手順



(3) SOA-121シリーズのホスト機としての機能

- ・SOA-121zはSOA-121シリーズのホスト機としての機能を備えています。ID番号を持った複数の端末SOA-121からの警報情報等を監視したり、1点の出力を制御することが可能です。

[ブロック図]



## 12. RS232C通信部仕様

### (1) コマンドとレスポンス

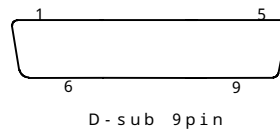
SOA-121zとパソコン等外部機器(DTE)がRS232C通信する場合通信信号はコマンドとレスポンスで構成されます。

コマンド : DTEからSOA-121zに送られる信号  
 レスポンス : SOA-121zからDTEに送られる信号

いずれも、2文字以上のキャラクタ列と最後尾に付加するC/Rコード(0DH)で構成されます。

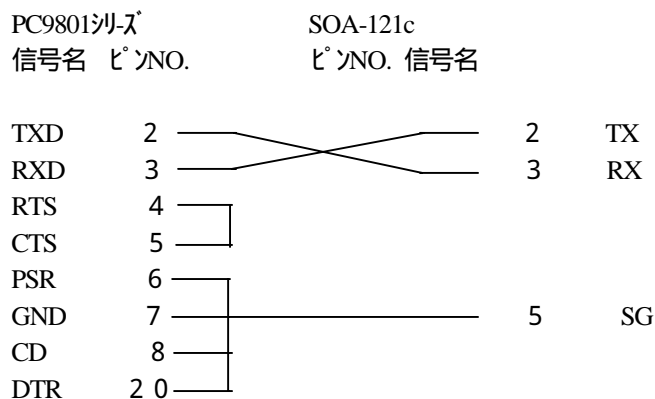
### (2) ピンアサイン<9ピン>

ピンNO.	機能	信号名
1		
2	送信データ	TXD
3	受信データ	RXD
4	データセットレディ	DSR
5	シグナルグランド	GND
6	データ端末レディ	DTR
7	送信可	CTS
8	送信要求	RTS
9		



ケーブルはストレートを使用します。

### (3) コネクタの結線図(例: PC9801シリーズの場合)



(4) RS232C通信部仕様

NO	項目	内容
1	通信規格	EIA規格・RS232C
2	通信方式	非同期・無手順
3	通信速度	2400bps
4	通信フォーマット	スタートビット : 1 データビット : 8 パリティビット : なし ストップビット : 1

(5) コマンドとレスポンスのデータフォーマット

コマンドとレスポンスの各キャラクタはアスキーコードで表現されます。

自動着信のコマンド例

C	I	0	C/R	L/F
---	---	---	-----	-----

43H 49H 30H 0DH 0AH

OKレスポンスの例

O	K	C/R	L/F
---	---	-----	-----

4FH 4BH 0DH 0AH

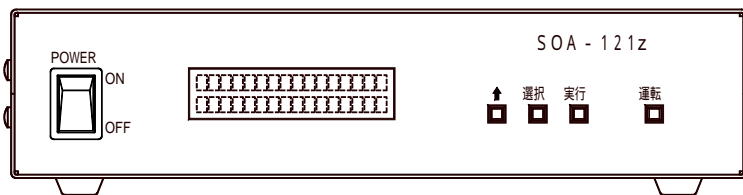
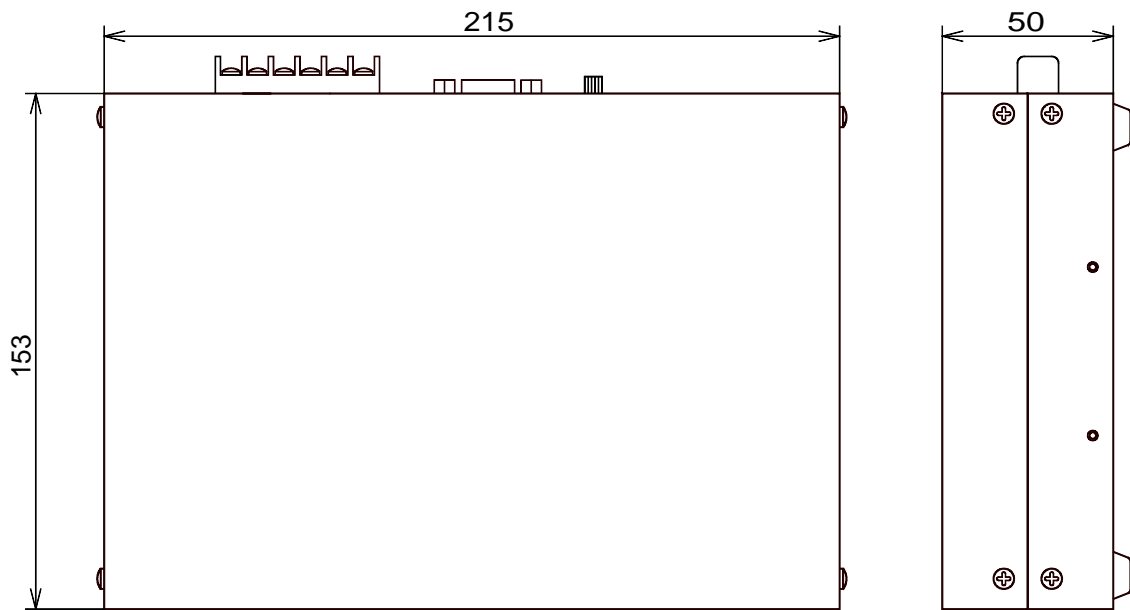
《注意》 以後の説明には C/R,L/F を省略していますが、キャラクタ列の最後尾には、必ず付加します。

(6) RS-232Cでの操作

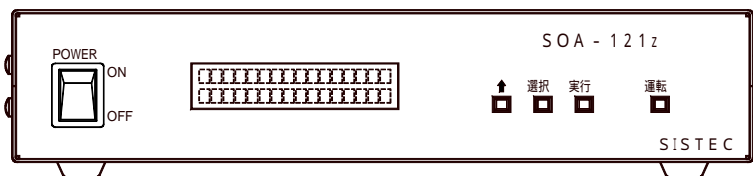
「通信取扱説明書」を参照ください。



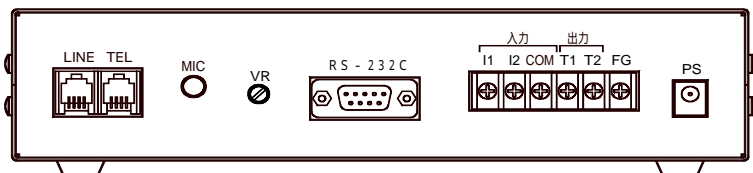
13. 外觀図  
 (1) 外觀図



(2) パネル表面



(3) パネル裏面



14. 付属品

NO.	品名	数量	備考
1	ACアダプタ-	1個	
2	取扱い説明書	1冊	

15. オプション

NO.	品名	型式	備考
1	RS232Cケーブル	SPC-20C	

16. 機能及び初期データ設定記録

NO.	設定項目	出荷時	運用時設定	備考
1	機能モード	1		
2	選択信号種別	P B		
3	着信モード	2		
4	発信モード	1		
5	発信条件			全て発信
6	リダイヤル	9		
7	ポケベル発信	O F F		
8	ポケベル時間	1 5		
9	第1電話番号	-		
10	第2電話番号	-		
11	I D番号	-		パスワード
12	最大接続時間	3		
13	無通信時間	0		
14	確認信号の有無	アリ		